

木曽三川だより

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

国土交通省中部地方整備局
木曽川下流河川事務所

管内NO.140 **2015. 11**

国営木曽三川公園「桑名七里の渡し公園」 開園



国営木曽三川公園では木曽三川河口部で初の公園「桑名七里の渡し公園」が一部完成し、11月3日（祝）に開園記念式典を行いました。

式典には、共催者である茅野牧夫中部地方整備局長、伊藤徳宇桑名市長の出席のほか、来賓として、中川康洋衆議院議員、吉川ゆうみ参議委員議員、鈴木英敬三重県知事ほか、開園に向けてご尽力を頂いたたくさんの方々の参列を頂きました。



また、KUWANAよさこいダンスの子供達の踊りや、隣接の諸戸家所有の神鹿祭車が園内で公開され、式典を大いに盛り上げました。

今回開園された国営木曽三川公園「桑名七里の渡し公園」は、隣接する国の名勝・重要文化財である諸戸氏庭園や六華苑など一体となり、桑名市の街づくりと連携した歴史公園として、市民の憩いの場、学びの場として、周辺地域の史跡などを巡って頂ける公園として広く利用して頂ける国営公園となることを願っています。



「桑名七里の渡し公園」は、伊勢大橋から七里の渡しまでの全体面積9.6haの非常に広大な国営公園となる予定です。今後の整備が進められ、一日も早い全体開園が待ち望まれています。



広域避難計画策定に向けたアクションプランをとりまとめました

10月13日（火）に木曽三川下流部高潮・洪水災害広域避難検討会を管内の5市町長及び群馬大学の片田教授に参加して頂き、桑名市役所で開催しました。

検討会では、巨大台風で想定される高潮・洪水の市町域を超えた広域被害から、犠牲者ゼロを実現するための避難計画をつくるうえでの課題を取りまとめたアクションプランを策定しました。

また、課題の中から「広域避難先・避難経路の設定」、「広域避難の意志決定タイミング・意志決定体制の検討」、「住民への効果的な広報の検討」を優先的に取り込む事項とすることや、課題解決のための地域住民の参加を頂くなど管内5市町、学識者、事務所が継続的に取り組みを推進し、年1回5市町長が参加し検討状況を確認することを決定しました。



検討会の様子



アクションプラン策定後の記念撮影

木曽三川下流部「川と海のクリーン大作戦」を行いました

《子どもたちにきれいな川と海を残すために》

平成11年に長良川で始まった「川と海のクリーン大作戦」は、伊勢湾沿岸の主要河川及び海岸を対象に、ゴミを拾うという美化活動を通じて環境問題への意識啓発を図るとともに、住民と行政が共同歩調をとりながら行うことで地域連携による『協働管理』を推進するもので、今年17年目を迎えました。

今年も10月25日（日）を統一実施日（海津市は10月18日）として取り組まれ、木曽川下流河川事務所管内においても木曽三川下流部の沿川自治体（桑名市・木曽岬町・弥富市・愛西市・海津市）により14箇所で開催され、自治会の住民の方々はじめ、事前に参加申込みいただいた団体・企業の方など約1,100名の皆様のご協力により2トントラック15台分のゴミを回収し、無事清掃活動を終えることができました。

参加者及び関係者の皆様のご理解、ご協力ありがとうございました。この取り組みは今後も続けることとしておりますので、よろしくお願いします。



清掃作業状況

桑名市（伊勢大橋上流付近）



清掃作業状況

木曽岬町（源緑排水機場付近）



清掃作業終了

木曽岬町（源緑排水機場付近）

肱江川の堤防改修と中須橋の改築を同時に行っています。

肱江川は揖斐川の右岸に注ぐ支川で、中須橋はその合流部から約1 km上流に架かっています。

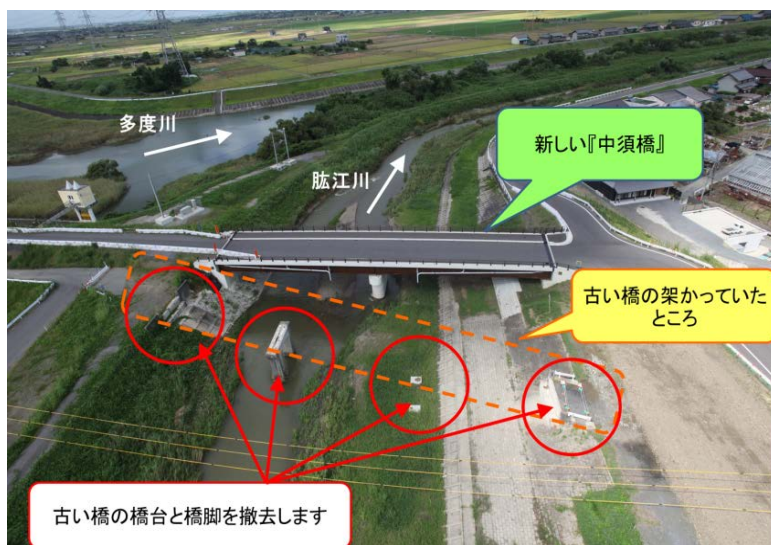
木曽川下流河川事務所では、以前から肱江川の堤防の改修を進めてきましたが、そこに架かる中須橋も三重県が進めている県道の改築で新しく架け替えられることとなりました。

そこで両者が、効率よくお互いの事業が行えるように調整をして、堤防の改修と橋の架け替えを同時に行うこととし、平成23年度から事業に着手して、現在も協力して工事を進めています。

平成26年12月には新しい橋が架かり、供用が開始されました。

これからは古い橋の橋台、橋脚を撤去して、築堤と護岸の工事を進めていきます。

工事中は通行にご不便をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。



土木技術者女性の会 中部支部における現場視察



澁谷事務所長からの事業説明

9月17日(木)、(一社)土木技術者女性の会(桑野玲子代表理事・東京大学生産技術研究所教授)中部支部が木曽川下流管内で交流視察会を行いました。

木曽川下流の女性技官2名と名城大学の女子学生4名、様々な職種の土木技術者14名が参加。船頭平閘門や、高潮堤防耐震工事などを見学しながら、意見交換しました。

移動中の車内では、女性技術者を志した動機、技術者として認めてもらうための努力や、家庭

と仕事との両立など参加者全員で意見交換をしました。

出席者からは、台風18号により被災を受けた鬼怒川の復旧作業が事務所にて見られることに驚きの声がありました。



久保田氏による
船頭平閘門説明



高潮堤防耐震工事の視察
(木曽川左岸 2.8kp)



鍋田上水門改築工事の視察

東北豪雨災害 TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) 活動報告

「平成27年9月関東・東北豪雨災害」に伴う災害支援として、木曽川下流河川事務所より、TEC-FORCE 隊員 2 名、災害支援協力会社 2 社から 13 名の計 15 名が、排水ポンプ車 2 台、照明車 2 台を伴い、平成27年9月12日から15日にかけて宮城県大崎市に派遣されました。

初日9月12日は、8時に事務所を出発、宮城県大崎市に22時過ぎに到着、翌13日9時より鳴瀬川水系渋井川の堤防決壊により冠水した水田（渋井川若木橋付近）の排水作業（写真左、中）を開始しました。翌14日早朝には付近の水位が下がったため（写真右）当該箇所での作業を終了し、その後、場所を移して排水作業を実施、同日17時にはすべての排水作業を完了しました。



湛水している水田



排水作業中



排水作業完了

最終日15日は、作業完了の報告を大崎市長に行い、市長より感謝の言葉を頂いた後帰途につき、22時の事務所到着をもって災害支援業務を完了しました。

後日、この地区の米が1等米と判定されたことを新聞記事で知り、改めて早期の排水作業（災害支援活動）の重要性を感じました。

関東豪雨災害 TEC-FORCE 活動（被災状況調査班）

「平成27年9月関東・東北豪雨災害」により被災した関東地方に、9月14日～18日の5日間、木曽川下流河川事務所から TEC-FORCE 隊・被災状況調査班として隊員 5 名、運転手 1 名が派遣されました。

14日の夜、現地対策本部がある関東地方整備局下館河川事務所に到着後、直ちに、本部から管内の概要、被災状況の説明を受け、翌日からの現地調査計画を立案しました。

木曽川下流班では、15日、16日の2日間に渡り、担当する小貝川左岸 61.8k～78.15k(延長約17km)を徒歩により目視調査を行い、3箇所の被災箇所を確認しました。

17日は、確認した3箇所の災害調書の作成すると共に、堤防や護岸等の施設の巡視結果を写真帳として取りまとめ、災害申請担当者へ報告を行いました。

18日午前中、今回派遣された TEC-FORCE 隊各班より、下館河川事務所長へ調査報告を行った後、現地を出発し、18時頃無事事務所に帰還しました。



9月16日被災箇所調査状況



9月17日災害申請担当者へ報告

「木曽三川だより」問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 木曽川下流河川事務所
〒511-0002 桑名市大字福島 465 TEL0594-24-5715 FAX0594-21-0893
<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>